

2021年(令和3年)1月20日(水)第18回例会(通算2892回)

国際ロータリー第2580地区



石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥104

創立年月日：1962年3月12日

今年度創立60周年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

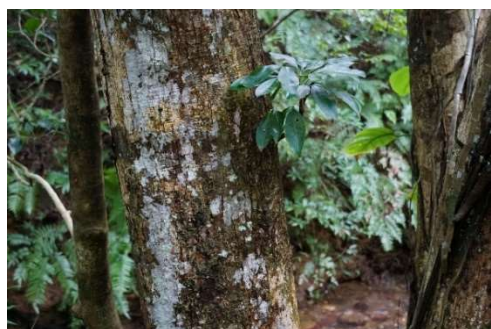
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木

石垣方言：トウムヌ 和名：タブノキ

まっすぐ大木に育ち、かつ、ロウ成分が含まれているため腐りにくく、太陽割れもしない、虫も寄ってこない、などの理由から建築材としてとても優秀です。皮からは線香の材料も取れることから、戸眞伊さんが若いころは時期になると西表のタブノキから皮をはぎ、本土へ送っていたそうです。



1月6日(水)例会報告

《司会進行：玉城 カ》

ロータリーソング：君が代 四つのテスト

ソングリーダー：宮脇 秀至

メイクアップ：松尾 和彦 大城 文博

| | |
|------------|--------|
| 会員総数 | 47名 |
| 出席義務会員 | 46名 |
| 出席数 | 32名 |
| 欠席数 | 14名 |
| 出席率 | 69.56% |
| 通算出席率(12月) | 66.85% |

★1月のプログラム

1/20(水)会員卓話：新垣精二氏

1/27(水)ガバナー公式訪問

例会日 水曜日 12:30～13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishirotdary@ninus.ocn.ne.jp

◆ 会長挨拶:森田安高 ◆




皆さん、明けましておめでとうございます。久しぶりに正月に陽を見ることができました。うちの会社で初日の出ツアーをやっておりまして6年ぐらい続いております。私も毎年参加しており今年も、水平線からというよりも、雲の上からでしたけど、石垣の周辺だけ晴れていて周りは雲がかかっていました。どうしても陽を見たいということでギリギリまでねばって一時間ぐらいのクルーズでしたけど、朝日が見れたということ、同じ空間に後を振り返った時に、まん丸としたお月様も残っていました。そしてその脇に雲がかかっていましたがそこに虹も架かっていました。同じ空間で三つの自然現象を見させていただいて、今年は絶対に良い事があるぞ！と心に誓って友達にSNSを使って送り拡散いたしました。橋本先生からもありましたが、国が緊急事態宣言を発令するという話がいま出ています。本当に事業所が大変な状況になるなど実感しています。ぜひともこれを我慢して乗り越えて、絶対にその先には光が差すと私は信じていますので、今年1年、仕事もロータリーも邁進していきたいと決意いたしました。今月の27日にはガバナー公式訪問がありますけれども、ガバナー事務所には緊急事態宣言が出た後に来れるかどうかの問い合わせ中です。決まりましたらご報告いたします。また4/30、60周年に向けて実行委員長の前木さん始め、みんながいろいろ試行錯誤しながらプログラムを埋めています。形も見えてきましたし、その方もSlackに載せながら例会の方でも報告出来るようになるべく早めに形にしていきたいと思っております。その事業の中で、大瀨信泉記念館に対してトイレの改修工事ということでいま動いています。それも議会の方で通って契約を今月の25日に事業所と役所とで契約をして実行していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。今日は、ゲスト卓話で石垣市公営塾の住吉さん、ロータリーの卓話は初めてだと思いますので、是非ともアピールして頂いているんな意味で心に打たれた方は必ず寄付いたしますのでよろしくお願いいたします。

◆ 幹事報告:東上里 和広 ◆

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。本年最初の幹事報告をさせていただきます。先程、本年第一回目の理事会が開かれ、例会に出欠する場合の議題は決定した事項の内容を今後の例会運営にご理解頂きたいと思っておりますので、一つよろしくお願いいたします。ガバナー公式訪問とMy Rotaryの登録についてですが、Slackでも案内させて頂いておりますが、今の予定は1/27(水)のガバナー訪問にあわせて1/15までMy Rotaryの登録を目標にご協力ください。My Rotaryの登録がまだ完了していない会員は個別に案内させて頂いておりますので、登録方法の操作が分からない方は私もしくは事務局まで声をかけて頂ければ、一緒に完了させたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。60周年の組織図の一覧をSlackに案内掲載させて頂きましたが、会員の皆様と連携を取りながら盛大かつ素晴らしい式典と祝賀会を一致団結して成功に導けたらと心より思っております。それには組織図が大事なものになるかと思っておりますので、どう

か皆さんで穴が空くほど見て頂いてポジションを確認して是非ともご協力を頂きたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

危機管理委員長:橋本孝来氏 明けましておめでとうございます。まず医療従事者を励ますということでライトアップをして頂いた前木さん小林さん、関係された方に本当に御礼申し上げます。とっても励まされます。私自身も12/30~1/3と全部仕事みたいな感じで正月する隙もありませんでした。新聞にも出ましたけれども石垣市が東京よりもホットエリアになってしまっていると。日々、週間で計算を取っていついっていきけど、人口10万人当たり60名近くで東京をはるかにしのいで、もうすぐ東京ももしかしたら緊急事態宣言になるかもしれないけれども、そういう状況の中にいるということ。それから日々PCRの結果を見てますと、何処からもらったのかが分からない人が増えてきております。そういう意味でこれからの一週間を非常に注視しないとイケないのかなと考えております。一点、ご案内ですけれどもPCR検査の認知証明書がビジネス上どうしてもリクエストされるケースがあるように伺っています。当院に置いてある機械は石垣市が購入して設置して頂いておりますけれども、市民の生活のために必要な事はやってくださいという事だったので、いわゆるビジネス上必要なPCR検査を受け付ける事にいたしました。もちろん症状が出ている方は全部検査できるんですが、そうじゃない場合は基本、自費になります。自費の金額は21,500円です。この金額は保険を全く適用していない場合の金額、それから文書もPCR検査の認知証明書を含みます。これが陰性だから安心できる話では全くないんですが、どうしても先方からのリクエストでという方もいらっしゃると思っておりますのでご案内いたします。ただし今、一日三クールぐらいPCR濾過して回しています。ですから前もってお電話を頂いてこちら準備してから受付をさせて頂くという事をお願いいたします。

◆ ゲスト卓話:住吉 優 様 ◆

(石垣市公営塾 講師)



◆ テーマ ◆ 石垣市公営塾の取り組みについて ◆

皆様こんにちは。本日はこのような素晴らしい会にお招き頂きましてありがとうございます。私が務めております石垣市公営塾の紹介をさせて頂きたいと思っております。まずは自己紹介を簡単にさせていただきます。住吉優と申します。石垣市公営塾の講師を務めながら鎌倉の方で村式(株)というITの会社の社長をしております、同じく鎌倉の面白法人カヤックというまだ上場していく会社なんですが、その顧問もしております。出身は広島県の呉です。今は三年ほど前に石垣市に移住してきました、43歳で妻一人、平真小に通っている8歳の息子と三人で暮らしています。趣味はブラジリアン柔術が好きでやっています、あとはキャンプしたり読書したりというそんな人間です。石垣市公営塾というのは、ピーアールが足りなくてご存じない方もいらっしゃると思うんですが、石垣市が八重山諸島の子どもたちにもっと力を注いでいきたいと、人間性の豊かさや表現力を育てる、人づくりをしていきたいという事で2018年9月に設立されました。この塾は設立のコンセプトが非常に面白くて、いわゆる大学進学が目的としての学習塾のような塾ではなくて、自立型の人材育成をしようという、そういうコンセプトの塾です。島の高校生を対象にしているんですが、将来どんな仕事をしたいのか、何が好きなのか、はたまたどうやって生きたいか、そういった事を重視して生徒達の潜在的な力を

伸ばすことが出来るような、そういった塾を目指しております。講師が主に三人おまして、今年も塾長を弥上さんがやっているんですが、彼は教員出身でもう20年の教育のベテランで、私はITの世界にずっとおまして起業家、比屋根さんというのは、オヤケアカハチのウイングキッズリーダーズの指導を長年されていたのでご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、このような僕はぜんぜん勉強は教えられないですが、いろんなビジネスのことを教えたり、比屋根さんだったら演出とか舞台に立つ心構えとか、いろんな事を教えられる様々なキャリアの講師陣で自己運営しています。塾の役割ですが、主に学力の補助、21世紀型スキルの二つを重視しています。基礎学力やコミュニケーション力、表現力というのが学力補助で、21世紀型スキルというのは社会人基礎力、変化に対応できる力だったりプロジェクトを実行できる力だったり、抽象的ではあるんですがこのあと詳しく説明していきます。塾としましては、中長期な目標としまして生徒達が自立的に自立型人材になるようにしていくことを目指しています。短期的には生徒達は進路がありますので、個々の進路のサポートをすると、そういう役割でやっています。この塾が設立された背景なんですけど、AO/推薦型入試、AOというのは総合型選抜というふうになんか名前が変わったんですが、従来の勉強ばっかりの一般入試に比べてこの入試の割合が増えています。これは平成28年の古いデータですが、私立の大学で一般入試が約50%に対して推薦が40%、AOの入試が約10%ぐらいになっていて、国立大でも2021年度までにAO/推薦が3割になるという状況になっています。これには企業の人材採用のあり方が変化してきているという背景がございます。入社の際の面接は、一昔前は企業の採用側も大学のブランドとか長く育てる前提で一緒に働きたいかどうかみたいなのを念頭において採用したり、学生側も企業をブランドで選んでいたというような時代がありましたけど、最近は学生側の本当にやりたい仕事、自分のやりたい事が出来るのかというふうな面接で済ませ、取る企業側もスキルや資質があるかというふうになってきています。長く企業に入れて育てるというよりも、そもそもそのスキルがマッチしているのかというところが重視されるようになってきています。そのため学力だけではなくて、生徒が得意なことだったりビジョンだったりというものが重視される入試であるAO入試の対策というのが結果的には就職の対策になって、生徒の自分のやりたい事が大学入試そして就職に活きるということなので天職に繋がるという、私は非常に良い流れになっているんじゃないかと思うんですが、こういう流れが今おきています。2020年から入試が大きく変わってきていて、呼び名も変わってきて一般入試も調査書とか志望理由書等が活用されるようになってきたり、いわゆる総合型選抜(AO入試)も学力を測る試験が必要になるようになってきたり、かなり入試が複雑化してきてます。総合的に見てまとめるとより主体的で総合的な力が求められるような入試になっていくという変化がありました。学力のみとか、調査書のみとか、特別な活動のみでの合格は難しくなるといった傾向になります。生徒からすると大変な入試になってきたなということだと思うんですが、社会に出て学力だけで偏っていても難しいし特別活動だけでも難しいというところで、より主体的でというのが密なかなというふうに思います。ここからは石垣市の公営塾でどんな授業をやっているのかを紹介させていただきます。一つ目は「質問できる自習室」いきなり自習なんですね。公営塾というのは、日本に20カ所ぐらい他にもあり、基本的には過疎地とかへき地に多い

んですね。高校とかがなくなって人口が流失してしまうようなところに教育で移住者を増やしていこうとか、流失を防ごうという意図で作られている塾が公営塾ですので、いわゆる学習塾みたいな公営塾が山ほどあるんですが石垣市だけが日本で唯一、学習塾っぽくない塾になっています。というのは民間で学習塾をやられている業者さんも石垣にはたくさんありますし、そもそも自立型の人材を育てようという目的で建てられたので、このような実習をサポートするというのが特徴的です。先生が黒板に書いて教えたりしないですね。生徒達が質問してきたり学習の計画を立てる相談を受け付けたりというのが一つの絵です。二つ目に「世界を知るダイアログ学習」これはユニークで生徒に人気なんですけど、職種を問わず島内外で活躍するゲストスピーカーを公営塾にお呼びしてお話をしてもらいます。時には遠隔地からZoomを活用してオンラインで講演をやってもらって、その講演に対しての質問や感想をシェアしていくというスタイルの仕様です。過去に登壇してもらったスピーカーの方なんですけど、海洋冒険家で世界一周ヨットで行った白石康次郎さんとか元電波少年のTプロデューサーとか元野球選手の方とかいろんなキャリアの方に登壇して頂いています。石垣に大学生やサークル活動とか研究会とかで来ているとかの噂を嗅ぎつけたらお願いをして、早稲田の大学生や琉大の学生だったり東大生と地元出身の大学生がインターンに来てくれたりしています。島の子にとっては身近な大学生が少ないので非常に喜ばれ刺激を受けています。三つ目に「プロジェクト型学習」これが公営塾の特殊な学習方法です。プロジェクトベースラーニング、PBLとも言われていますけれども、その学習に力を入れています。これは八重山諸島の文化や歴史とか自然環境をテーマに生徒がやりたい企画を立てるんですね。そして自分達のやりたい事をチームで組んで、実際に取材したり撮影して編集し公開したり、資金調達までやっちゃうという非常に実践的な学習になっています。ステップとしてまずブレストですね、ブレインストーミングをチームでやってアイデア出しをしたり、じっくり話し合ったりしながらどんなプロジェクトにするか企画を立てていってその後、地域の歴史とか課題を掘り起こし調査してプロジェクトを実行していくという流れになっています。僕たち講師員は基本的には教えません。ほったらかしとまではいかないんですけど、生徒達の話の聞いたり問いを投げかけたり、そういう形で生徒達に並走していくようなスタイルでやっています。いくつかプロジェクトの事例をご紹介します。八重山を舞台にしてドキュメンタリー映画の製作を行いました。いくつか作ったんですが「島で生きていく」これは将来医学部に行きたい医者になりたいという子が離島のエリアに興味を持って離島医療に着目したドキュメンタリー映画。「よそ物海人」というただ単に釣りが好きな子が釣り人を追っかけて、釣りが好きでかつ移住してきた釣り人がどういうふうな島に馴染んでいくのかというのをドキュメンタリーで追った作品でなかなか面白い着眼点だなと思っています。製作した映画を試写会を一年間で行ったり、一昨年に第一回湘南石垣島国際映画祭というところで機会を設けられてそこで上映会をしたりしました。映画に出品するのにお金がかかるので、そのお金も自分達で集めようってことでクラウドファンディングで34万円ほど生徒達が頑張って集めて活動を行いました。もう一つの事例ですが、島そうじプロジェクトというのをやっています。これは漂着ゴミ問題解決を目指すプロジェクトです。これは2019年の5月に近所の海のビーチクリーンに参加した時に、とんでもない漂着ゴミに衝撃を受け

て生徒達が動き出してプロジェクトをしようと始めました。最初は、生徒達でビーチクリーンを体験してたんですが、とにかく暑いし腰も痛くなるし面白くないから高校生はなかなか参加しづらいという事に気付いて、彼らはビーチクリーンをゲーム化しようという事で、道具を持ってきたりチーム戦にして勝ったチームがエコな商品を手に入れようという事にしたりとか、ビーチクリーンをゲーム化するという事をやって何度もビーチクリーンをしていました。そんななか一昨年にアイランダーサミット石垣というところにご縁を頂いたバリ島の「グリーンスクール」という世界一エコな学校と言われているところがあるんですが、そこで交流してバリの生徒達と議論する時間を定期的に設けていたんですけども、そこでバリの生徒達から衝撃的な言葉をもらいました。それが「拾ったゴミはたらい回しにされるのでは？また他の国に送るの？」と聞かれたんですね。それで生徒達はビックリして島の子供達はまさか自分達がビーチクリーンをして漂着ゴミ問題を解決出来ると思っていたら、ここで拾ったゴミは、処理できないものは沖縄本島や内地に送られて更に、主にアジアの方に買い取って貰っているという事を言われたんですね。そういうサイクルになっているという事を彼らは知らなくて自分達は一生懸命ゴミを拾ってもあまり意味がなかったという事にショックを受けて、どうしようかという岐路にたつてよく話し合いをしました。その時に一つ活路を見出したのが、プラゴミの再製品化が出来るプレシャスプラスチックという運動があります。オランダが発祥のオープンソースのプロジェクトなんですけど、プラゴミを再生するような大がかりな設備ではないんです。割と身近にある機材を組み合わせて再製品化する機械があります。その設計書もオープンソースで誰でも作る事ができて公開されている、そういう運動体がありこれを生徒達がネットで探してきてこれをやりたいという事になりました。ゴミをビーチクリーンで拾うだけじゃなくて島の海を守っていくシンボルになるような製品を作りたいという事でミンサーの「いつの世にも」の柄を生徒達がデザインいたしました。「いつの世も美しい海を守る」というシンボルになるような製品を作れたらこれは凄い良いストーリーだし、みんな環境に関しての意識が変わるんじゃないの、そして販売まで出来るんじゃないかという事でこれをやりたいと言い出して、そこからいろんなところでプレゼンを始め、アイランダーサミットだったり4、5回どころじゃないぐらいプレゼンしていました。コロナもあってビーチクリーンそのものが出来なかったりして大変だったんですが、去年の8月にクラウドファンディングで資金を集めました。この機械を導入するのに130万円ほど必要だったんですね。それを集めようとなって頑張った原稿を作って、大人の方にも協力してもらってなんと240万以上集まりまして東上里さんにもありがとうございました。本当にいろんな大人の方にサポートして頂いて2日間で目標金額を達成したんです。本当に生徒達も非常に勇気づけられていましたし、大人の方に応援してもらってここまで実現が見えてきたなということで資金がいま手に入った状況です。いま生徒達は何をしているかという事と、クラウドファンディングで集めたお金のお返しのリターン品の製作をしています。プレシャスプラスチックの機械の導入に向けて設計をしたり、大人の技術者の方にも協力してもらいながら進めています。試作品が出来てきて試行錯誤しながら何とか今年の3月にはコースターとキーホルダーを作ろうとしています。最後に塾でやっている活動は、ほぼ志望理由書の作成です。自分の力で書けるようになるという一点を目指していると言っても過言ではないです。志望理由書は、入社の時

とかもありますけど、付け焼き刃で書けないですよね、なかなか。受験対策で書きちゃう子って思ってもないことを書いたり、誰でも書ける事を書いたりして、それだと大学側も採ってくれないし、何より本人のためにならない。なので公営塾では自力で書けるようにするというのを一つ目指しています。その為に生徒達といろんな対話をしたり、生徒達同士でグループディスカッションしたり、小論文は非常に大切なので小論文を書いたり志望理由書を書いたりするという授業をやっています。小論文は生徒達に人気なくてやけに小論文の授業の時は風邪が増えるんですけど、表現力は書けば書くほど上がっていきます。そして最終的には志望理由書が完成します。一年生の時から見ている子の三年生の志望理由書は本当に見事で、最初は右も左も分からないし、誰かがやりたいと言ったことに自分もやりたいと言う段階から自分がやりたい事はこれだという、志望理由書を書けるようになるんですね。この成長には感動します。まとめますと公営塾は生徒達が自らの意志で探求・行動する力を育む場所になっていると思います。成果は生徒達の成長が一番の成果なんですけど、目に見える形になっているのが、マイプロジェクトアワードという全国でプロジェクト活動をしている高校生の甲子園みたいな大会がありまして、その沖縄県の大会で優勝しました。今年3月に全国大会に行く予定です。社会貢献支援財団から社会貢献者として日本財団賞というのを頂きました。他にもいろいろな賞を頂きました。あとは進路ですね。冒頭に申し上げましたように大学が必ずしもゴールではないんですが、やはり生徒達の一つの頑張った成果として2018年には琉大、名桜、青学とか、面白いのが凄く学力がある充分大学に行ける子でも、もう大学に行っても意味がないと見切っていて、自分はもう留学しますとか専門に行きますみたいな子も出てきているのが非常に良い傾向だなと個人的には思っています。今年はまだ途中なんですけど琉大や長野県立大学、ICUに一人合格しました。これは凄いなと個人的にはビックリしました、良く頑張った。自分がやりたい事に向き合っているのが大学も沢山受けるのではなく1本に絞る子も出てきたり、自分はもう就職したいので就職するという子も出たりと選択が非常に多様になってきているのがこの三年間やって成長したところかなと思っています。3期、塾を運営してきました、気付いた事は生徒達は周り、特に親とか先生に凄いネガティブな言葉を浴びすぎているなと気づきました。もちろん良い先生も沢山いらっしゃるし親御さんもそうですが、やっぱり出来ないとか無理とか止めとけとか、そういうネガティブワードをあまりにも受けすぎているなというのが実感としてあります。生徒も恥ずかしがり屋ですけども、本当は本音でいろいろ話したいんだなと、将来の夢とか。でも学校でなかなかそういうのを話せる機会がないですね、空気も違うし。入塾時は受け身の子が多かったり、石垣の高校生は部活や習い事でとても忙しいなという事に気付きました。一方で石垣の子はチームワークの力が非常に素晴らしくて、感性とか表現力が素晴らしいなと思ってます。悩んで考えて自ら意志決定できるようになってきているというのが気付いたところです。学校とは違う塾を目指しています。同じ事をやっても意味ないですし、でするので自分の意志を生徒達が磨いて伝えられるような安心な場っていうのが一番大事なんだなというのが3期やっての気づきです。今後の塾の目標としては生きる力を育てたいのですが、そうは言っても受験対策の駆け込み寺的に急に受験直前に三年生がどっと入塾してきたりみたいな事が多くて、ちょっと本末転倒になっている感じもあるので、出来

るだけその要素を省いて「プロジェクト型の学習」、「世界を知る」、「対話」をメインにしていきたいなと思っています。あとはマイプロジェクトで少しでもいいので稼ぐというような体験をさせたいなと思って

います。地域の様々な大人の方と生徒の交流機会を増やしていきたいなと思っております。どうか応援して頂けると有り難いです。ご清聴ありがとうございました。

～例会風景～



石垣市公営塾

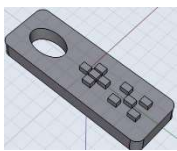
～石垣島から世界へ。未来へ。～

石垣島によりよい学びの環境をつくり、未来に羽ばたいていく八重山諸島の子どもたちにもっと力を注ぎたい。人間性の豊かさや表現力を育てる、人づくりをしていきたい。そのような思いから 2018 年に石垣市公営塾が設立されました。(大瀧信泉記念館内)

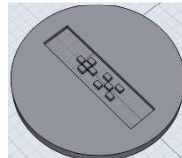
【塾の目的】 自立型人材の育成 ※大学進学がゴールではない

大事なのは高校生の生徒たちが

・将来どんな仕事をしたいか・何が好きか・どう生きたいか



キーホルダー



コースター

漂着ゴミ問題解決を目指す！【島そうじプロジェクト】

ビーチクリーンで集めたプラゴミの製品化を目指して島の海を守るシンボルとなるようか製品を作りたい！2021年3月完成・販売・販売に向けて、現在試行錯誤



住吉 優 様

お忙しい中、卓話ありがとうございました。

本日のニコニコ

- ☆森田安高氏: 明けましておめでとうございます。今日のゲスト卓話、住吉さんありがとうございました。
- ☆上勢頭保氏: あけましておめでどう御座います。今年も楽しいロータリーでありますよう祈ります。
- ☆宮良榮子氏: 今年もロータリーの皆様にとって良い年でありますように。感謝！
- ☆南波正幸氏: あけましておめでどうございます。本年もよろしく申し上げます。
- ☆上原晃子氏: あけましておめでどうございます。新しい年！！皆様にとってしあわせいっぱい年になりますように～。
- ☆新 賢次氏: 新年明けましておめでどうございます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。コロナに負けないで頑張ってください！
- ☆前木繁孝氏: 新年明けましておめでどうございます。年初に皆様とお会いできてうれしく思います。
- ☆遠藤正夫氏: 新年明けましておめでどうございます。今年もよろしく申し上げます。
- ☆橋本孝来氏: あけましておめでどうございます。60周年事業に向けて頑張りましょう！
- ☆黒島 剛氏: 住吉様 今日卓話ありがとうございました。
- ☆宮良 薫氏: 新年明けましておめでどうございます。令和3年は皆様にとって良い年でありますように。RCの新聞の名刺広告ありがとうございました。
- ☆大田次男氏: 会員の皆さま 新年オメデトウゴザイマス。本年もガンバッテ行きましょう！
- ☆今西敦之氏: 深淵、明けましておめでどうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
- ☆東上里和広氏: 本年もどうぞよろしくお願ひします。
- ☆吉田貴紀氏: 住吉塾長 卓話有難うご座いました。また、玉城さん初司会有難うご座いました。
- ☆新垣精二氏: 本日、57歳の誕生日を迎える事ができました。ありがとうございました。
- ☆大本綾子氏: 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

◆BOX¥17,000 (累計¥157,418) ◆コイン¥2,053 (累計¥43,788) 合計¥201,206

◆60周年記念基金 今西敦之氏 1,000円 累計¥59,000



小林 昌道氏 4日(月) 新垣 精二氏 6日(水) 宮城早人氏 21日(木)

